

政策分野	003	医療・保健・福祉	政策項目	002	地域医療	施策	001	医療水準の維持・確保	担当課	福祉課高齢者・介護・医療グループ
------	-----	----------	------	-----	------	----	-----	------------	-----	------------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
066	地域に必要な医療水準の維持に努めます。	充実	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 医療機関への支援（補助金交付）（単位：件）	1	1	1	1	1	1	1	100%	I 栗山赤十字病院への補助金交付を想定
	II 在宅療養支援を行う法人への支援（単位：件）	1	2	2	1	2	1		50%	II 栗山赤十字病院での訪問看護ステーション開設予定を想定
	III 電話相談窓口への参加（運営費負担）（単位：件）	1	1	1	1	1	1		100%	III 道央医療圏救急医療システムへの運営費負担を想定
成果指標	I 町内受診可能な診療科数（単位：件）	12	12	12	12	12	12		100%	I 内科・リウマチ科・循環器内科・外科・整形外科・耳鼻科・皮膚科・泌尿器科・精神科・眼科・小児科・歯科
	II 法人の訪問看護サービスの利用者数（単位：人）	269	280	280	285	259	98		35%	II 令和2年度実績：利用者数269件、平成28～令和2年度利用者数平均：約287人
	III 救急医療相談利用数（単位：件）	64	100	100	83	112	44		44%	III 令和2年度実績：相談件数64件、平成27～令和元年度の5年間平均相談は約105件

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	（活動指標Ⅰ）栗山赤十字病院への救急医療体制等確保補助金を交付した。 （活動指標Ⅱ）訪問看護事業所と連絡会議を開催し、情報共有と連携を深めた。栗山赤十字訪問看護ステーションは、9月より24時間体制となった。 （活動指標Ⅲ）救急医療相談（救急安心センターさっぽろ）、町内に診療科がない産婦人科に関するオンライン相談事業（小児科を含む）を継続して実施した。地域医療協議会（7月開催）にて、南部地区の医療環境対策について協議・検討を進めた。
施策の分析 （目標達成・未達成に関する要因分析）	・各事業や会議等は計画通りに実施し、活動指標、成果指標のおおむね目標達成できている。 ・訪問看護利用者数は例年並みであるが、栗山赤十字訪問看護ステーションの利用者が増えている。 ・南部地区の医療環境対策については、関係機関と協議・検討を進め、栗山赤十字病院による巡回診療を提案することができた。
課題・問題点	在宅医療体制の充実のため、訪問看護や訪問診療のあり方について、関係機関との協議や、遠隔オンライン診療など先進取組事例に係る情報を収集する必要がある。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 （担当課長）	①計画通りに進める 栗山赤十字病院への支援を継続し、地域医療の機能維持・確保を図るとともに、栗山赤十字訪問看護ステーションを含む他の訪問看護事業所、訪問診療など関係機関や、地域医療協議会と連携し、在宅医療体制の充実に向けた協議・検討を進めること。 また、南部公民館での巡回診療について、医療機関・調剤薬局との調整を図り、令和8年1月開始に向け協議を進めること。
2次評価 （副町長）	①計画通りに進める 一次評価のとおり。
外部評価	※評価対象外
最終評価 （町長）	①計画通りに進める 二次評価のとおり。

今後の展開・方向性 （国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等）	
	・栗山赤十字病院を中心としながら、町内医療機関や調剤薬局、介護保険事業所との情報共有、連携を図り、町内全体での在宅医療体制の充実に向けた取組を推進していく。 ・今後、医師の高齢化などにより開業医の減少が予想され、他市町の医療資源に頼らざるを得ない現状になってくる可能性がある。南空知圏域での情報共有や連携の可能性を検討していく。

政策分野	003	医療・保健・福祉	政策項目	002	地域医療	施策	001	医療水準の維持・確保	担当課	企画財政財政グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
067	栗山赤十字病院改築事業を推進します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標										
成果指標	I 新病院の開院	-	1	0	0	0	0	0%	I 栗山赤十字病院と連携し、令和7年9月開院を目指す ※旧病院の解体及び外構整備を終え令和8年6月にグランドオープン予定	

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	例月開催の栗山赤十字病院整備事業総合定例会議に出席し、工事の進捗状況の確認など、栗山赤十字病院、工事施工業者の佐藤工業株式会社、工事施工監理業者の株式会社石本建築事務所及び町との間で情報共有を図った。 また、事業費に対する財源確保のため、町長が総務省及び北海道庁へ訪問し、支援・協力依頼を行った。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	栗山赤十字病院、石本建築事務所及び佐藤工業と協議の上、令和7年11月4日開院及び令和8年10月25日グランドオープンを予定。
課題・問題点	令和7年度過疎対策事業債必要額について、全体配分枠の関係で一部が2次協議とされており全額確保には至っていない。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	1次協議分同意及び今後予定されている2次協議に対応するとともに国の地方債財源の推移を注視し、令和7年度及び令和8年度借入必要額の確保に努める。 また、必要に応じて国等に対し要望書の提出を行っていく。
--	--

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 引き続き関係者との連携を密にし新病院建設事業の進捗管理を行うとともに、地方債による確実な財源確保に努めること。
2次評価 (副町長)	①計画通りに進める 一次評価のとおり。
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	①計画通りに進める 二次評価のとおり。